

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2007-523361(P2007-523361A)

【公表日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2007-031

【出願番号】特願2006-547209(P2006-547209)

【国際特許分類】

G 0 3 G 13/00 (2006.01)

B 4 1 J 3/407 (2006.01)

B 4 1 M 3/14 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 13/00

B 4 1 J 3/00 F

B 4 1 M 3/14

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月19日(2007.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マーキング用に特定されたピクセルと前記ピクセルに隣接するマーキング用に特定されていない他のピクセルとを有する文書特有の配列を画成し、前記ピクセルは文書特有の静的情報とデジタル的変更可能情報とを有するステップと、

前記ピクセルに対応するレシーバ上の領域と前記他のピクセルに対応する前記レシーバ上の他の領域とを少なくとも部分的にマーキングすることにより、前記レシーバ上に読み取り可能な 2 ポイント以下の文書特有の文字を印刷するステップとを有する印刷方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記文字をデジタル的に変更するステップを有する方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、

M I C R トナーを用いてレシーバ上に読み取り可能な 2 ポイント以下の文書特有の文字を印刷するステップを有する方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、

読み取り可能な 2 ポイント以下の文書特有の文字の列と、前記文字列のいずれかの側に対抗する囲みラインとを印刷するステップをさらに有する方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、

前記文字の列をデジタル的に変更するステップを有する方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法であって、

前記マーキングはアクセントカラートナーによるマーキングを含む方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記マーキングはクリアトナーによるマーキングを含む方法。

【請求項 8】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記マーキングは 1 つ以上のプロセスカラートナーによるマーキングを含む方法。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記マーキングは黒以外のカラートナーによるマーキングを含む方法。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記マーキングは紫外放射にさらされた時に蛍光を発するトナーによるマーキングを含む方法。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記マーキングは赤外放射にさらされた時に蛍光を発するトナーによるマーキングを含む方法。